

令和5年度戸田市予算編成における 重点施策の要望書

戸田市議会会派 戸田の会

酒井 郁郎

浅生 和英

佐藤 太信

矢澤 青河

野澤 茂雅

宮内そうこ

戸田市長 菅原 文仁 様

令和5年度 戸田市予算編成における重点施策の要望書

コロナ禍に見舞われた2年半、市民の生活は激変し、地域経済へも深刻な影響を与えています。さらに、ロシアによるウクライナ侵攻、原油・エネルギー価格や物価の高騰、円安の急進等、国際情勢や日本経済の先行きの不透明感は増大し、予断を許さない状況が続いています。

このような状況下、「コロナと共に生きる日常」に向けて、適切な予防対策、迅速な医療体制支援を前提とした地域コミュニティの活性化、より満足のいく経済支援を進めるとともに、戸田の未来を築く教育政策、地域防災基盤の充実、都市基盤・公共施設の見直し等、山積する課題に対処していかなければなりません。

本市は平均年齢が41.7歳と27年連続で県内一若く、将来的にも引き続き人口が増加し、すでに人口14万人を突破するなど、人口減少社会のなかにもありながら住民に選ばれ続けている活力のある街であるといえます。

若い人も高齢者も多世代に渡り元気なまちでありつづけるために、本市の行財政運営に関しては、先々を見越した対応が求められ、議会のみならず、市民の関心も日に日に高まっております。特にコロナ禍においては、それが顕著に表れています。

私たち戸田の会は、二元代表制の一翼を担う議会の一員として、日々住民福祉向上のため活動しています。こうした活動の中から、わが市に資すると考える事項を「令和5年度戸田市予算編成に対する要望書」としてとりまとめました。厳しい財政状況下ではありますが、特段のご配慮を賜りますよう、ここに要望いたします。

戸田市議会会派 戸田の会

代 表 酒井 郁郎

幹事長 浅生 和英

佐藤 太信

矢澤 青河

野澤 茂雅

宮内そうこ

<重点政策>

1. 公共施設の再編

- スポーツセンターの老朽化対策にあたっては、長期的なコストの抑制を始め、多様化するスポーツ環境や障害者スポーツへの対応、防災施設としての活用等を考慮すること。また、長寿命化のみならず、建て替えについても選択肢として検討すること
- 西部4施設（美笹中、西部福祉センター、美谷本小、笹目小）の建て替えにあたっては、地域の声を取り入れ、複合化による再編を検討すること

2. 子育て、子ども、若者

- 安心して子どもを産み育てる環境を整備すること。産前産後からの母親支援、子育て相談支援体制の充実、保護者の孤立防止等、留意願いたい
- 子育てにおける金銭面・労力面の負担軽減を図ること。小中学校における金銭負担の軽減を推進すること
- 子ども・若者への支援体制を強化すること。SC, SSW等の配置増強、アウトリーチ強化を行い、不登校、引きこもり、発達支援等への切れ目のない支援を実現すること

3. 防災・国民保護、安心・安全

- 災害・有事における地域組織の体制強化を図ること。従来から想定してきた地震・水害に加え、核攻撃や紛争についても想定し、備えを進めること
- 川岸地区に新設される大型物流施設の周辺道路整備を行い、安心安全を確保すること

4. 高齢者、障害者

- 中高年の健康増進や社会参加について総合的な施策を推進すること。運動施設の利用促進や移動手段の確保、生きがい就労、社会活動の提供、認知症のケア等、検討願いたい
- 障害者のノーマライゼーション推進を図ること。障害者雇用の促進や障害当事者の声を反映する仕組みづくりを進めること

5. ICT、地域政策

- ICTを活用した利便性の高い社会の構築を進めること。行政手続きのリモート化、ワンストップ化を推進すること
- 地域政策の実施体制を強化すること。学区単位での防災や人材確保、地域担当職員の活用や学校運営協議会との連携で、町会負担を軽減するとともに地域政策の実効性を高めること

市長公室

	要望	ねらい・効果・具体策
1	広報戸田市の全戸配布、各部局・団体のチラシの見直しを行うこと	・広報戸田市との併配、広報戸田市の紙面への掲載、廃止・縮小等の実施

総務部

	要望	ねらい・効果・具体策	
2	公共施設にユニバーサルシートを設置すること	・育児や介護のオムツ替え等で利用するシートの設置	
3	職員の市内居住を促進すること	・家賃補助制度の導入等によるインセンティブ化 ・災害時の迅速な対応や平時の市内状況把握	
4	人事制度改革 採用する人材の質向上を図ること	・応募要件の緩和、応募や受験における利便性への配慮 ・受験者の適性・能力の的確な測定氷河期採用等の実施	
5		場所・時間にとらわれない柔軟な働き方を推進すること	
6		多くの職員が評価する「多面評価」を導入すること	
7		年功序列による弊害の解消を図り、責任に応じて処遇すること	
8		同一労働同一賃金の給与体系を導入すること	
9		戦略的な職員育成を行うこと	・幹部人材の育成や専門性の強化等
10		適性や異動時期について柔軟な人事異動制度を導入すること	・引継ぎを円滑化し、定期異動による業務水準の低下防止
11	障害者雇用の推進を図ること	・職場の環境整備、職員同士が支え合う体制の確立 ・精神障害者採用の促進等	
12	入札契約制度の改善を図ること	・コストを抑えた公平公正な公共調達、一社応札の是正 ・市内事業者の参入機会の確保	
13	投票率向上を図ること	・投票所の設置場所・時間の拡大 ・身体・知的障害者が投票しやすい投票所環境の整備等	
14	ITへの投資で業務、市民サービスの向上を図ること	・デジタル推進室主導による全庁的な改善	

企画財政部

	要望	ねらい・効果・具体策
15	西部4施設（美笹中、西部福祉センター、美谷本小、笹目小）の建て替えに合わせた再編について、地域との協働により検討すること	・小中一貫校の設置による教育水準の向上 ・学校施設へ地域住民が利用できる温水プールや運動施設の併設等
16	公共施設の余剰スペースを利用し、放課後の勉強スペースを増やすこと	・市役所の空き会議室や地下の飲食スペース、中央図書館のロビースペース等へ設置検討
17	公共施設や道路等の包括管理を行うこと	・予算効率化や職員の負担軽減、地元企業の育成等
18	口利き防止条例を制定すること	・不当要求に対する抑止
19	公共施設総合管理計画、再編プランの見直しにあたっては、費用削減と施設機能向上に資する方法を検討すること	・複合化の検討、市民や民間からのアイデアを広く検討する機会創設等
20	債権確保について民間ノウハウの導入を図ること	・収納率の向上

消防本部

	要望	ねらい・効果・具体策
21	ドローン等の活用をさらに推進すること	・ドローン、スマートグラス等の先端技術の活用による災害時人命救助の迅速化、物資の運搬等

危機管理防災課

	要望	ねらい・効果・具体策
22	マイタイムライン作成の推進をすること	・ネットやスマホの活用による作成の簡易化、幅広い市民への啓発等。例) 災害シミュレーション・選択方式で体験しながら簡単に作成できるツールの導入、学校のタブレットで作成する等
23	ハザードブックにおける情報保障や配布後の活用を進めること	・音訳・点訳等障害者への合理的配慮、ハザードブック活用した講座や訓練等の実施
24	福祉避難所の運用見直しを進めること	・移送の判断や方法、要支援者の受け入れ環境や許容人数等様々な課題の想定 ・一般の避難所における要配慮者の受け入れ体制
25	自主防災組織の単位を町会単位から学区単位等へ見直しを図ること	・高齢化や担い手不足による町会の自主防災組織の存続危機に対し、学区等広域の連合組織を編成することによる自主防災組織の負担軽減や学校・PTA等地域各種団体との連携、幅広い人材の発掘育成
26	水害時に高速道路へ避難できる体制を整えること	・国交省が「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」で推進している、緊急避難場所としての高速道路の活用（避難スペースや階段スロープの整備を行う等）
27	災害時要支援者制度の運用について健康福祉部との連携を進めること	・災害時要支援者制度と登録者数が伸びない現状にある「お願い会員、まかせて会員」との関連の明確化。登録までとその後のフォローアップ
28	水害時における事前の広域避難を推進すること	・広域避難計画の策定、広域避難場所の確保、事前の周知啓発の徹底等
29	災害時の被害状況、必要な情報を市民と共有できるシステムを構築すること	・市民への適切な情報発信と職員の負担軽減を図るため、国県市および部局等を跨り錯綜する災害情報を整理、一元化したリアルタイムに共有できる体制構築
30	戦争や核攻撃の備えを進めること	・避難場所や核シェルターの増設、備蓄品の確保 ・周知徹底や訓練の実施

市民生活部

	要望	ねらい・効果・具体策
31	[再掲]西部4施設（美笹中、西部福祉センター、美谷本小、笹目小）の建て替えに合わせた再編について地域との協働により検討すること	・小中一貫校の設置による教育水準の向上、学校施設への地域住民が利用できる温水プールや運動施設の併設等
32	地域担当職員制度は小学校単位を検討すること	・町会負担の軽減や地域要望の聴取機能の強化、コミュニティ活動の活性化や支援を図るための適切な人員人材配置
33	市配布物の全戸配布を行うこと	・町会の負担軽減とともに、配布物が適切に届くよう不公平の是正
34	市管理運用の防犯カメラの増設を行うこと	・増設と共に、犯罪抑制効果を最大限に活かすため、防犯カメラ設置の啓発看板や垂れ幕等の設置
35	スポーツセンターの再編においては、長期的なコストの抑制や多様化するニーズに合わせた整備を進めること	・長期的なコストの抑制。多様化するスポーツ環境や障害者スポーツへの対応、防災施設としての活用等、建て替えを選択肢として検討
36	障害者スポーツの推進を図ること	・障害者にやさしいまちを目指し、パラリンピック、デフリンピック（2025年）、アビリンピック等の周知啓発を含めたイベントの開催
37	アクティブスポーツ等多様化するスポーツ環境を整備すること	・協会や団体がないスポーツでは競技者の声が市に届きづらいため、多様化するスポーツのイベントや教室の開催やアンケート調査等の実施による、ニーズの把握、環境整備
38	市民がボートに親しみやすい環境整備を行うこと	・「ボートのまち戸田」として、ボート関係の大学や企業、団体等で構成される協議体の立ち上げ、国県市と連携した戸田ボートコースや彩湖におけるボート競技の環境整備

環境経済部

	要望	ねらい・効果・具体策
39	ゴミ問題の研究と対策を行うこと	・市や市民の分別収集の手間、ゴミ処理に要する資源や経費、環境への負荷、特にリサイクルの悪循環等を考慮した見せかけではない環境対策
40	保護猫活動の申請を簡易にすること	・「殺処分ゼロ」を目標に、TNR活動や里親会等、県補助金等を活用した地域猫活動を支援するための申請負担の軽減
41	不法投棄対策の効果検証を行うこと	・効率的な日中における巡回回収、看板や夜間の青パトによる啓発等対策
42	ボール公園、インクルーシブ公園の整備を進めること	・子どもや家族、高齢者、障がいを持つ方等の幅広いニーズや視点の反映
43	戸田市の地域特性合致した先端産業の誘致を行い、長期的視点による産業育成を行うこと	
44	商工会と連携を図り、飲食店等の民間事業者の合理的配慮の推進を図ること	・商工会と連携を図り、合理的配慮に係るツール等の支援、実態把握や啓発
45	公園における熱中症対策を行うこと	・日陰の有無で公園利用者が減らないよう、日陰のできる樹種の選定、タープやフラクタル構造の日よけ、ミストの設置等

健康福祉部

	要望	ねらい・効果・具体策
46	住宅支援事業の効率化を進めること	・住宅SW手数料の二重取り等の事業を是正措置
47	「健康福祉の杜」経営の健全化、透明性・組織統治の強化を図ること	・市助成金に頼らない事業努力、将来を見通した予算の活用等による経営健全化
48	新型コロナワクチン接種による医療被害の救済・啓発を強化すること	・ワクチン接種による後遺症に係る医療費の救済、後遺症事例等の周知
49	リサイクルフラワーセンターの障害者雇用を質・量ともに向上させること	・民間事業者を活用した障害者雇用の改善 ・戸田市による直接雇用の検討
50	成年後見人制度におけるミスマッチを解消すること	・成年後見人制度のメリットやデメリットを理解した上での導入推進や職員や当事者の理解促進の徹底 ・利用時の詐欺等のトラブルの保護やミスマッチの相談対応
51	障害者手帳取得できない方への補聴器購入補助を導入すること	・加齢難聴を含めた補聴器を購入できない方の実態把握
52	特定検診受診率を向上させること	・受診しやすい環境整備を進めるために、受診対象者に具体的取組の事例提示等
53	化学物質過敏症に関する周知啓発の強化すること	・市民や事業者に対しての周知啓発 ・相談員に対しての学習会の実施
54	障害者の就労支援を改善すること	・市による、民間における一般就労の誘致や開拓の積極的実施 ・市外の先進的な就労支援センターを参考にし、選定基準に就労先の開拓等を追加する等の見直しによる競争性の確保
55	親なき後の支援を進めること	・親なき後を見据えた居住支援、民間事業者との連携によるグループホームの誘致
56	生活保護ケースワーカーの確保等、生活支援に関わる人員の拡充すること	・要員の質の確保、職員負担の軽減
57	障害者施策推進協議会構成メンバーの見直し等当事者の声を反映される仕組みづくりを進めること	・障害者総合支援計画が活かされるような実行力のある協議会への見直しや、市の施策を進めるにあたって計画・実施・評価に当事者の声が反映される仕組みづくり
58	重度心身障害者の通勤・通学による行動援護を助成対象とすること	・重度心身障害者の行動範囲が広がるとともに、自立を促し税金を納める対象者となる
59	気軽に利用できる運動拠点等、中高年の健康増進を進めること	・公共の体操施設や運動施設の利用促進 ・民間ジム等を活用した高齢者の健康増進 ・公共施設でのウォーキングステーションの整備

60	ダブルケアやヤングケアラーに関して、重層的支援を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップの窓口設置による、切れ目のない、部局横断した重層的な支援 関係機関との情報共有や実態把握に努めたアウトリーチによる支援
61	家庭での入浴が困難な障害児を対象とした、入浴サービス等を行う事業に助成制度の導入を進めること	<ul style="list-style-type: none"> 入浴サービスを実施することによる障がい児の心身の健康増進や家族の負担軽減
62	市民医療センターの抜本的な経営改善を行うこと	
63	子ども、学校、障がい児、若者などを総合的にサポートする「子ども若者総合支援センター」を設置すること	<ul style="list-style-type: none"> 0歳から30代まで切れ目のない総合相談の設置 引きこもりや発達支援等の支援が必要な方に対するアウトリーチの強化
64	がん検診やワクチン接種等医療政策の妥当性を評価する機能を強化し、施策展開に活かすこと	<ul style="list-style-type: none"> 肺がん検診に低線量CT検査の導入 乳がん検診に超音波検査の導入 胃がんや食道がん検診にピロリ菌検査の導入 带状疱疹ワクチン接種の助成
65	がん患者への支援を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> がんのコミュニティや団体等ピアサポート支援でによる当事者同士の情報共有や不安軽減 ウィッグ購入等への助成
66	老々介護への支援を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> 仕事を辞めずに介護できる環境整備、相談支援の充実等
67	民間の経験と知見を活用した障害者就労支援を推進すること	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルフラワーセンターを始め、公共の施設や用地を活用した誘致や、開業やへの適切な支援等
68	[再掲]福祉避難所の運用見直しを進めること	<ul style="list-style-type: none"> 移送の判断や方法、要支援者の受け入れ環境や許容人数等様々な課題を想定し、近隣の避難所の受け入れ態勢を含めた運用の見直し検討
69	部局横断的な課題に対して切れ目のないワンストップの相談支援を行うため、福祉総合相談窓口の見直しや関係する部局や団体との連携強化を図ること	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の検証を行うことによる課題の把握と改善 相談者が複数の窓口を行き来しないよう、部局跨る切れ目のないワンストップの相談支援 関係団体との重層的な連携

こども健やか部

	要望	ねらい・効果・具体策
70	特殊な保育（宿泊・夜間・病児）、送迎等の効率化を図り、子育て予算の効果向上を図ること	<ul style="list-style-type: none"> 現状の実態把握や事業の効果を検証した上での統廃合や事業効率化
71	戸田市乳幼児健康ダイヤル24の見直しを検討すること	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県">#8000等類似事業との統合または市事業の廃止の検討
72	婚活支援メニューを拡大すること	<ul style="list-style-type: none"> 結婚サポートセンター、出会いイベント開催、仲人人材の発掘等
73	子育て関連の煩雑な手続きを簡略化すること	<ul style="list-style-type: none"> 保育、学童保育等の入園時における書類のネット申請の実施
74	家庭児童相談員の拡充を行い、相談機能の更なる充実を図ること	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・不登校の増加や親子関係等の家庭問題への対応 LINEやネットでの相談体制の構築
75	子どもの居場所づくり事業の拡充・充実を図ること	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂や学習支援等の拠点拡充
76	3キュー子育てチケット事業の拡大を図ること	<ul style="list-style-type: none"> 子育てチケットを、習いごとや子育て支援サービスに使用できるように適用範囲を拡大する等のサービス利用促進 市内事業者の育成
77	保育施設の午睡の目的と効果を見直し、園児の生活リズム改善を図ること	<ul style="list-style-type: none"> 個人の状況に合わせた午睡の実施
78	児童青少年の居場所や遊び場を確保するため、公園や公共施設等の充実を図ること	<ul style="list-style-type: none"> ボール遊びができる環境整備
79	18歳以上の引きこもりの実態把握と支援を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> 窓口の明確化や周知、子ども若者総合相談窓口の検討、実態調査、関係団体との市町村プラットフォームの設置等
80	子ども、学校、障がい児、若者などを総合的にサポートする「子ども若者総合支援センター」を設置すること	<ul style="list-style-type: none"> 0歳から30代まで切れ目のない総合相談の設置 引きこもりや発達支援等の支援が必要な方に対するアウトリーチの強化

都市整備部

	要望	ねらい・効果・具体策
81	川岸大型物流施設近辺の道路等整備を行い、危険防止に努めること	・大型トレーラーの進入や大渋滞が予想されるため、児童生徒をはじめとした近隣住民のさらなる安全対策の実施
82	市内3駅ホームドアの設置を進めること	・転落・接触事故をなくすため、国・県との連携による早急なホームドアの設置推進
83	障害当事者の声を反映した道路整備を進めること	・点字ブロックや音響式信号等の整備 ・視覚障害者の通行の支障となっている車止めポールの取り扱いについての検討・整備
84	無電柱化を推進すること	・道路幅員の確保、景観形成、バリアフリー化
85	tocoバスの収支改善と利用率向上を図ること	・路線・ダイヤの見直し。高齢者のtocoバス・路線バスの無料化
86	大規模な商業施設や物流施設等の建設が計画された場合、環境悪化が起こらないよう図ること	・川岸2丁目物流施設の事例を参考にした、将来を見越した計画や監視指導
87	人口が急増し住工混在する美女木北地区において、さらなる交通安全対策を講じること	
88	笹目川、さくら川沿いの歩道整備を行うこと	・交通安全対策及びウォーキングコース整備
89	道路や街路樹等の包括管理を行うこと	・予算効率化や職員の負担軽減 ・地元企業の育成等、業者と公園課等との包括委託推進 ・倒木や落ち葉による家屋の雨どい被害等街路樹の管理徹底
90	生活道路の「コミュニティ道路」への転換を推進すること	・人と車の共存を図り地域の人々の安全な生活を担保するための、生活地域内における交通混雑、交通事故、騒音等の課題低減
91	自転車利用のルールの周知啓発と、違反者への指導を行うこと	・条例への指導要項の設定 ・市による違反者へ指導の実施

水安全部

	要望	ねらい・効果・具体策
92	さくら川治水工事の早期完了をめざすこと	・笹目川と同じ堤防高への早急な整備 ・橋も含めた工事のさらなる早期完了
93	ポートコース水害の再発防止を進めること	・浸水被害を防ぐため、事前放水による貯水量の確保 ・住民への事前周知、越流堤の廃止、周辺堤防の整備、菖蒲川への流路の増強等
94	道路冠水ゼロを目指した雨水対策を進めること	

教育委員会

	要望	ねらい・効果・具体策
95	小中学生保護者の金銭的負担の削減を強化すること	・制服や水着等の自由化・多様化の推進 ・教材費、給食費等の負担軽減
96	タブレットの不適切利用を防止すること	・視力低下や自律神経障害の防止に向けて、家庭における使いすぎや映像・ゲーム利用を抑制するため、モニタリング強化や学校主導での指導
97	図書館その他施設における放課後の勉強スペースを増やすこと	・遊休資産、公共施設の空きスペースの利活用
98	西部4施設（美笹中、西部福祉センター、美谷本小、笹目小）の建て替えに合わせた再編について、地域との協働により検討すること	・小中一貫校の設置による教育水準の向上 ・学校施設への地域住民が利用できる温水プールや運動施設の併設等
99	教育委員の公募制導入や一般市民・保護者枠の拡大を行うこと	・保護者や地域の視点の導入
100	小中一貫校への転換、公共施設の複合化の検討を行うこと	・学校・公共施設建て替え時における検討
101	体育館ステージ等の段差の解消を進めること	・避難所として車いす利用者等が利用できるような環境整備

102	教室における立ち机の導入を行うこと	・集中力向上、トレーニング効果、着座による健康被害の防止
103	学校運営協議会の熟議のフィードバックを地域に対し行うこと	・地域に開かれた学校における学校運営協議会として、地域住民の理解と協力を得るための情報共有
104	学校のプール授業において、公共施設や民間スポーツジムのプールを授業の場として活用すること	・カリキュラムの充実とコストの削減
105	希望者全員が美女木小学校から笹目中学校に進学できるように学区外枠を柔軟に対応すること	・美女木小からの中学校進学に関する特殊事情の配慮
106	小中一貫校の拡大と共に、習熟度別クラス、多学年混合クラスの導入を検討すること	・ICTによる個別最適化の教育課題を受けての習熟度別クラスの導入 ・小中一貫化の深化とそれに伴う学年分けの見直し ・部分的な多学年混合によるリーダーシップの醸成
107	不登校、ひきこもり、発達障害等の子どもの環境整備や柔軟な支援を行うこと	・オンライン学習のコンテンツの充実等 ・小中高一貫した「支援シート」導入による、生活面における要支援内容の適切な伝達
108	同一建物内におけるインクルーシブ教育を推進するため各人の教育ニーズに応じた教育環境の整備を行うこと	・地域で共に学べる環境整備「戸田市版インクルーシブ教育」の推進 ・教員等の必要な人員の配置や教室の確保による特別支援教育が必要な児童生徒の受け入れ枠の拡大
109	医療的ケア児の実態把握、看護師の配置を行うこと	・医療的ケア児の送迎を含めた支援措置の推進
110	いじめ対策のため、子どもや保護者が相談しやすい体制づくりを更に進めること	・子どもや保護者へのアンケートの充実等
111	スクールカウンセラー（SC）やソーシャルワーカー（SSW）による相談体制整備を進めること	・教職員を含めたケースカンファレンスの推進 ・SC・SSW常勤化の検討
112	児童虐待に関する予防措置を行うこと	・家族への支援 ・親子向けの児童虐待や社会的支援に関する研修
113	障害福祉教育を充実させること	・障害者との交流や研修等の時間の確保 ・福祉教育を教える人材の確保
114	ICT利用に関する相談窓口を各学校に設置すること	・家庭からの相談対応
115	ことばの教室における専任教員の増員、教室の確保を進めること	
116	デジタル機器による図書貸出券の導入、市外から貸出する書籍のリクエスト申請を進めること	
117	学区の見直しを行い、各学校間の規模の差、極端な遠隔通学の解消を図ること	
118	条件付き返還免除の奨学金を新設すること	・貧困家庭の進学支援
119	運動会、プール授業における熱中症対策を強化すること	・校庭利用の時間短縮、日陰の確保
120	学校建替時においても運動会等の行事を実施すること	・代替地の確保や他校の他施設を使う等、建替え前と変わらない学校行事の計画実施
121	代替乳の選択を検討すること	・給食時に牛乳が飲めない児童生徒への配慮
122	子どもが動物とふれあうことができる環境整備を進めること	・全小中学校における動物飼育環境の整備 ・みどりパル等の施設を利用した「こども動物園」創設の検討 ・道満などにおけるヤギによる雑草除去等の検討
123	子連れや障がいを持った方などが気兼ねなく利用できる図書館づくりを進めること	・図書館でのカフェ設置 ・点字や音訳による図書の提供 ・子連れでも気兼ねなく騒いだり声を出せるスペースの確保や防音対策 ・週3回の託児サービスの実施
124	高齢者の知識や経験を活かした仕組みづくりを進めること	・会社退職後の知識や経験を活かした雇用の推進 ・高齢者の認知症予防 ・市民企画講座開催のフォローアップ
125	子ども、学校、障がい児、若者などを総合的にサポートする「子ども若者総合支援センター」を設置すること	・0歳から30代まで切れ目のない総合相談の設置 ・不登校や引きこもりや発達支援等の支援が必要な方に対するアウトリーチの強化